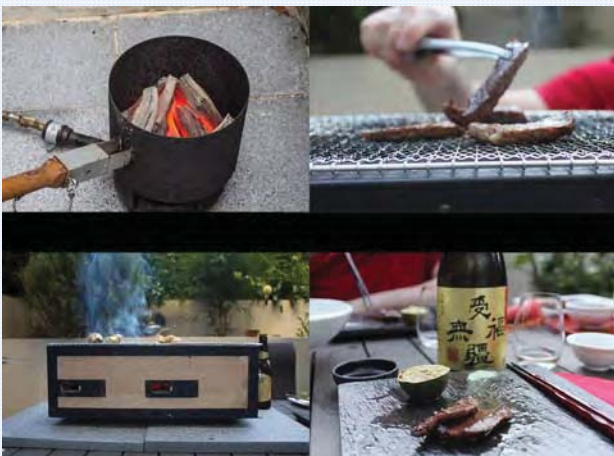




林産物の輸出取組事例集

～ 日本産木材を世界へ ～



林野庁木材利用課

はじめに

国内の森林資源は成熟期を迎え、木材利用の拡大を通じた循環利用を進めることが重要であり、住宅分野のみならず、公共建築物や企業のオフィスなどでの利用の拡大が期待されています。また、国外においては、新興国における経済発展や人口増加により、木材需要が増加することが見込まれており、こうした需要に国産材が応えていくことも期待されています。

農林水産省では、平成25年に策定した「農林水産物・食品の国別・品目別輸出戦略」における、農林水産物の輸出額1兆円目標に向けて、輸出力強化の取組を進めています。林産物（木材と特用林産物）については、平成28年の輸出額は274億円と増えてきておりますが、品目別では丸太が多いこと、輸出先に偏りがあることが課題となっております。

このような中、各地では、耐久性に優れた高温熱処理木材や、高性能木製窓製品など、林産物輸出拡大に向けた工夫ある取組が見られるようになっていきます。

この度、林野庁では、都道府県の協力を得て、各地における林産物の輸出に向けた取組事例を収集・整理し、「林産物の輸出取組事例集～日本産木材を世界へ～」として取りまとめました。今後の木材・木材製品の輸出拡大に向けた取組の参考としていただければ、幸いです。

平成29年6月

林野庁木材利用課長 玉置賢

目 次

I. 住宅用部材(構造材、内装材等)

- | | | | |
|----|----------------------------------|---------------------|------------|
| 1 | 八溝材を使用した住宅を台湾へ | (株)棟匠 | (茨城県) ……1 |
| 2 | 構造用集成材を韓国・中国・台湾へ | (株)中東 | (石川県) ……2 |
| 3 | ヒノキ・スギの在来軸組住宅を
韓国で建設 | 笠原木材(株) | (岐阜県) ……3 |
| 4 | ヒノキ・スギを中国・韓国・台湾へ | 桑原木材(株) | (愛知県) ……4 |
| 5 | 高耐久性木製品を中国へ | 越井木材工業(株) | (大阪府) ……5 |
| 6 | オール岡山で輸出を推進 | 岡山県木材組合連合会 | (岡山県) ……6 |
| 7 | 韓国にアンテナショップを開設 | 美作材輸出振興協議会 | (岡山県) ……7 |
| 8 | 藍染建材をシンガポールへ | 大利木材(株) | (徳島県) ……8 |
| 9 | 高知県産ヒノキ製材品を韓国へ | 池川木材工業(有) | (高知県) ……9 |
| 10 | 熊本県産材の輸出拡大・付加価値
を付けた木材製品の輸出促進 | くまもと県産木材
輸出促進協議会 | (熊本県) ……10 |

II. 高付加価値木材製品

- | | | | |
|----|------------------------------|----------------|------------|
| 11 | 山形県産材を使った
木製知育玩具の海外販路拡大 | (株)ニューテックシンセイ | (山形県) ……11 |
| 12 | けん玉を世界へ | (有)山形工房 | (山形県) ……12 |
| 13 | 能登ヒバを金沢港からベトナムへ | 加賀木材(株) | (石川県) ……13 |
| 14 | 国産芳香木材による高付加価値
木商品の海外販路開拓 | (株)山崎屋木工製作所 | (長野県) ……14 |
| 15 | 焼杉を韓国へ | (株)フォレストフィーリング | (静岡県) ……15 |
| 16 | 経木をメモ帳にして世界へ | (株)フォレストフィーリング | (静岡県) ……16 |

III. 丸太

- | | | | |
|----|-------------------|-----------------------|-------------|
| 17 | スギ丸太を中国へ | (株)アイザック | (群馬県) ……17 |
| 18 | スギ原木丸太を中国へ | 長野県森林組合連合会 | (長野県) ……18 |
| 19 | スギ・ヒノキ丸太を中国・韓国へ | エス・エルワールド(株) | (静岡県) ……19 |
| 20 | 木材輸出の拡大に向けた取組 | 三重県農林水産物
食品輸出促進協議会 | (三重県) ……20 |
| 21 | 内装用原木を韓国へ | (株)山一木材 | (和歌山県) ……21 |
| 22 | 紀州桧を中国で製品加工し、販売展開 | イーストライズ
トランスポート(株) | (和歌山県) ……22 |

IV. 特用林産物

- | | | | |
|----|--------------------|----------|-------------|
| 23 | 乾しいたけを台湾へ | (株)ひろの屋 | (岩手県) ……23 |
| 24 | 紀州備長炭の良さを世界へ | 紀州炭工房 | (和歌山県) ……24 |
| 25 | タケノコ・野菜水煮をASEAN諸国へ | (株)主計物産 | (福岡県) ……25 |
| 26 | 県産きのこをアジアへ | (株)オーダック | (沖縄県) ……26 |

(参考)

【都道府県の取組】

岩手県	27
岐阜県	28
静岡県	29
三重県	30
奈良県	31
岡山県	32
徳島県	33
愛媛県	34
高知県	35
福岡県	36
佐賀県	37
長崎県	38
熊本県	39
大分県	40
宮崎県	41
鹿児島県	42

I . 住宅用部材 (構造材、内装材等)

1. 八溝材を使用した住宅を台湾へ (株)棟匠(茨城県)

- 茨城県内の八溝材を住宅用部材として台湾へ輸出し、現地合併会社が木造住宅を建設、販売。
- 現地において不足部材が発生した場合、調達が困難であるため、部材を精査してプレカット製品を輸出。
- 現地の職人を育成するため、技術指導を実施。

1. 主な製品

住宅用部材

2. 主な輸出先国・地域

台湾

3. 輸出取組の概要

(株)棟匠は、茨城県内の八溝材を使用して茨城県北部の宮の郷工業団地で住宅用部材としてプレカット加工した製品を2014年から台湾に輸出し、台湾の設計会社や美容関連企業等と2013年に設立した合併会社「ゴールデン・ヘルス・ハウス」が木造住宅を建築・販売している。また、(株)棟匠は、部材の輸出だけでなく、現地での木造住宅建築に係る技術指導も行っている。

4. 輸出実績

2015年実績:2棟

(建築構造材・造作材・内装材等(スギ・ヒノキ)69㎡)

5. 課題と対応

・課題

- ①現地では在来工法による木造住宅が少ないため、建築技術や必要な工具が不足
- ②不足部材が発生した場合、現地での調達が困難
- ③輸出量が少いため、輸出コストが割高
- ④職人の人件費が高い

・対応

- ①現地での加工に過不足が極力生じないように、部材を精査してプレカット製品を輸出
- ②現地の職人を育成するための技術指導を実施
- ③輸出コストの削減につながるよう、コンテナへの効率的な梱包方法や輸出用製品の規格化を検討

6. 今後の展開

台湾で木造住宅を普及していくため、広告宣伝や見学会を実施するなどして、富裕層を中心とした販売促進に努めていく。

7. ウェブサイト

<http://www.kk-tosho.co.jp/>

8. 問合せ先

(株)棟匠 石川 忠幸(TEL:029-227-1040)



製品のコンテナへの積み込み状況



木造住宅の建築状況



完成した木造住宅の居室

2. 構造用集成材を韓国・中国・台湾へ (株)中東(石川県)

- 構造用集成材を韓国・中国・台湾へ輸出。
- 構造用集成材はプレカットして出荷し、現地での建方指導も実施。
- スギ・能登ヒバ・カラマツなどの石川県産材、国産材を提案。

1. 主な製品

構造用集成材

2. 主な輸出先国・地域

韓国、中国、台湾

3. 輸出取組の概要

- ・海外の提携・協力業者からの情報、引き合いがあれば対応し、見積もり、条件が合えば受注する。
- ・構造用集成材はプレカットして出荷。現地では建方指導も実施している。

4. 輸出実績

平成27年 2月 韓国ゴルフ場クラブハウス
米松・唐松集成材 122.2m³
平成27年 4月 台湾駅舎上屋
唐松集成材 33.7m³ 湾曲材
平成27年 11月 韓国ソウル共同住宅
唐松集成材 30.2m³
平成28年 7月 中国上海市寺院
杉集成材 67.7m³
杉化粧板 30m³
平成28年 8月 台湾台北市国民小学校校舎
唐松集成材 88.1m³
平成29年 2月 台湾駅舎上屋
米松集成材 61.4m³ 湾曲材



韓国ゴルフ場クラブハウス



中国上海市寺院

5. 課題と対応

- ・契約金額、支払いについての条件が合いにくい。
- ・図面、仕様変更が多く、契約内容が簡単に変更されてしまう。
- ・支払いの遅れ。
- ・日本の場合より運搬など全体の金額が上がってしまい、高価なものとして認識され、契約できないケースが多い。

6. 今後の展開

- ・海外からの引き合いに応じる。
- ・こちらからの提案は、特に樹種に対して、スギ、能登ヒバ、カラマツなどの石川県産材、国産材を薦めている。

7. ウェブサイト

URL <http://chuto.jp/>

8. 問合せ先

(株)中東 集成材事業部 TEL:0761-58-0100 FAX:0761-58-0210
E-Mail: info@chuto.jp

3. ヒノキ・スギの在来軸組住宅を韓国で建設 笠原木材(株)(岐阜県)

- プレカット国産材を韓国へ輸出し、木造住宅を建設。
- 在来軸組工法は認知度が低く、技術者が少ないため、日本人大工工事技術者を派遣し、木造住宅を完成。
- 今後、韓国で開催される住宅展への出展や、韓国のパートナー企業への施工技術指導等を検討。

1. 主な製品

国産材を使った木造住宅建設
・プレカット国産材の輸出
・木工事施工のサービスを提供

2. 主な輸出先国・地域

韓国

3. 輸出取組の概要

国産ヒノキ・スギのプレカット材の輸出と、日本人大工による構造、造作の施工

4. 輸出実績

H27年12月にプレカットしたヒノキ・スギ構造材18.5㎡と、羽柄材、造作材5.2㎡を輸出した。同年12月末よりH28年2月にかけて、日本人大工工事技術者2名を派遣し、木造住宅を完成させた(サービス輸出)。

5. 課題と対応

韓国では、建設される住宅のほとんどが「RC構造」であり、比率の低い木造住宅も、そのほとんどが「2×4工法」である。

日本の木材に適した軸組在来工法は、認知度が低く、施工技術者もほとんどいない。

今後、韓国内で軸組在来工法の認知度を上げること、施工技術者を育成していくことが課題である。

6. 今後の展開

韓国で開催される住宅展への出展や、韓国のパートナー企業への施工技術指導・移転。韓国内での営業強化支援を実施していく。

7. 活用した支援・施策

- ・岐阜県: 県産材競争力強化・販路拡大支援事業
- ・高山市: 匠の家づくり支援事業

8. ウェブサイト

URL:<http://www.kasahara-net.jp>

9. 問合せ先

笠原木材株式会社 住宅事業部 柳尾(やなお)
TEL: 0577-52-2525



韓国華城市に完成した
木造軸組住宅



輸出したプレカット材

4. ヒノキ・スギを中国・韓国・台湾へ 桑原木材(株)(愛知県)

- ヒノキ・スギの原木、製材品を中国・韓国・台湾へ輸出。
- 生産工場などを海外の顧客に案内し、先方の需要に沿った商品を中間業者に頼らず、直接販売。
- 海外営業の強化のため、外国語ができる社員を増やし、自社工場で研修させ営業力を強化。

1. 主な製品

ヒノキ・スギの製材品、原木

2. 主な輸出先国・地域

中国、韓国、台湾

3. 輸出取組の概要

- ・15年間の北米、ロシアからの輸入経験、昨年まで大連での製材工場の所有など、海外の木材業者とのネットワークを持つことで海外への国産材原木・製材品の販売を行う。
- ・現在は当社の生産工場などを海外の顧客に案内することで、先方の需要に沿った商品を中間業者に頼らず直接販売している。

4. 輸出実績

H28年度(見込み)

- ・ヒノキ製材品(板) 4500^m、ヒノキ原木 1000^m
- ・ヒノキ加工品 60^m
- ・スギ製材品(板) 345^m、スギ原木 320^m

5. 課題と対応

・課題

- ①輸出運賃コストのウエイトが大きい。
- ②中国・韓国など海外の展示会に参加したが、効果が薄く継続的な販売ができる顧客の開拓ができない。

・対応

- ①輸送コストの削減を図る。コンテナの容積率を上げる工夫をする。
- ②自社にて海外現地営業の強化。外国語ができる社員を増やし、自社工場で研修させ営業力を強化する。
- ③現地の需要に合った商品の生産し、商品の競争力を上げる。

6. 今後の展開

国産内装材を中心とした販売に注力していく。付加価値が高く、品質の良い製品で他社、国内・国外製品との差別化を図っていく。

7. 活用した支援・施策

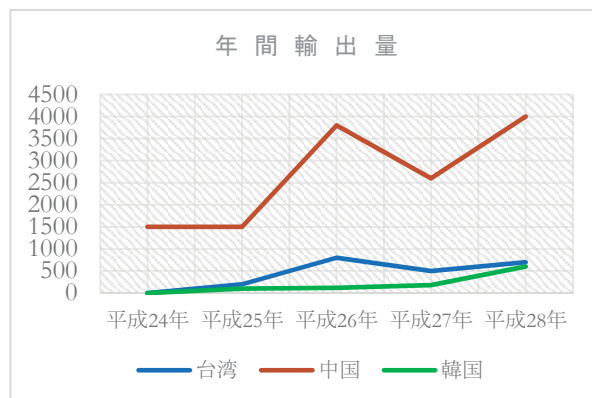
上海・杭州・仁川での展示商談会への参加

8. ウェブサイト

[Http://www.kuwabara.co.jp](http://www.kuwabara.co.jp)

9. 問合せ先

木材事業部 貿易特販部
TEL:0568-67-4046 FAX:0568-67-4763



輸出用材の倉庫風景

5. 高耐久性木製品を中国へ 越井木材工業(株)(大阪府)

- 高耐久性木製品を中国へ輸出。
- 1990年代から中国市場に注目。人材育成に取り組み、2010年に上海事務所を開設。
- ヒートアイランド対策として、日本既存試験資料を利用し、中国に木製外装材を推進。

1. 主な製品

屋外用デッキ材に使用される樹脂含浸積層板
耐久性、寸法安定性に優れた高温熱処理木材



■マクセラムPL
(中国では「越秀木-PL」)
薄い単板に特殊な樹脂を含浸し
強固に積層したウッドデッキ材。



■コセイ・スーパーサーモ
(中国では「越秀木-DT」)
高温水蒸気下で熱処理し
高い耐久性、寸法安定性を
付与した木材。主に外装材などの
屋外用途。



■スーパーパネル
(中国では「越秀木-FR」)
スギ材を使用した内装用の
防火木材。国交省大臣認定品。
不燃、準不燃、難燃の3種。

2. 主な輸出先国・地域

中国

3. 輸出取組の概要

1990年代から中国市場に注目し、人材育成に取り組み、2010年、上海事務所を開設した。
自社製品を設計事務所、デベロッパーへスペックインの活動を行い販売活動を行っている。

4. 輸出実績

H27高耐久性木製品約400m³
(樹脂含浸積層板 210m³、高温熱処理木材110m³、防火木材36m³、その他40m³)



物件名:南昌「洪都」団地デッキ
商品名:マクセラム-PL(樹脂含浸積層板)
数量:860m² 受注:H28年



物件名:廈門「恒禾」団地デッキ
商品名:マクセラム-PL(樹脂含浸積層板)
数量:18,000m²(H25-今までの受注量)
受注:H25年



物件名:廈門・個人マンション外壁
商品名:コセイ・スーパーサーモ(日本杉)
(高温熱処理木材)
数量:75m² 受注:H28年

5. 課題と対応

課題:現地商習慣との違いがある。

対応:現地代理店ネットワークを構築し、代理店の地元力で対応及び現地消費者に密着した営業を
実行する。

6. 今後の展開

- ①既存代理店の維持、管理、新代理店の開拓。
- ②新商品の開発(フローリング、中産階層への商品(今までは富裕層のみ)、プレカットなど)
- ③国産材を用いた中国市場向け完成品を考案し、次のステップのために準備する。

7. 活用した支援・施策

木材輸出振興協会から支援を頂き、下記活動に参加した。

- ①「2016日中木材製品利用促進セミナー(青島)」、「青島商談会」に参加
- ②「2016日中木材製品利用促進セミナー(広州)」
- ③「2016日本産木材製品利用技術研修会(台湾)」、「日台木材台中商談会」
ヒートアイランド対策として、日本既存試験資料を利用して、中国に木製外装材を推進している。

8. ウェブサイト

www.jpkishiiwoods.com (中国)
www.koshii.co.jp (日本)

9. 問合せ先

TEL:+86-21-6236-2661(中国)
住所:中国上海市延安西路2299号上海マート11A31室
TEL:+81-6-6685-2061(日本)
住所:住所:大阪市住之江区平林北1丁目2番地158号

6. オール岡山で輸出を推進 岡山県木材組合連合会(岡山県)

- 岡山県産ヒノキ製材品を中国・韓国等へ輸出。
- 平成24年度に「岡山県産材販路推進協議会」を設置し、輸出に関するセミナーの開催や、海外の展示商談会への出展を実施。

1. 主な製品

県産ヒノキ製材品

2. 主な輸出先国・地域

中国、韓国など

3. 輸出取組の概要

岡山県木材組合連合会は、県産製材品の輸出振興に当たって、会員企業の輸出の取組を支援する目的で、県の支援を受け、平成24年度に「岡山県産材販路推進協議会」を設置し、輸出に関するセミナーの開催や海外の展示商談会への出展を行っている。

出展に当たっては、会員企業を募り「岡山県産材販路推進協議会」として出展を行い、オール岡山での取組であることをPRしつつ、輸出の経験がない会員企業の商談等のサポートを行っている。

岡山県は平成24年度以降、4年連続ヒノキの素材生産量日本一で、多くの会員企業がヒノキ製材品を主力製品としていることから、ヒノキ製材品の輸出に力を入れており、平成27年に「日本一のひのきの国・岡山」をキャッチフレーズにロゴマークを作成し、国内外における県産材の認知度向上に努めている。

連合会が支援する海外の展示・商談会への出展を契機に輸出を開始する企業が現れ、輸出量が伸びていることもあり、輸出に関心を持つ会員企業の入会や展示商談会への新規出展企業が増加している。

4. 輸出実績

県産ヒノキ製材品

(内装材、家具用材、その他板類など)

5. 課題と対応

- ・県内の中山間地域では、林業・木材産業が主要な産業のひとつであり、木材の需要拡大が課題となっていることから、林産物の輸出に対する関心のある市町村を特別賛助会員とし、情報発信を行うことにより、木材業界と行政の橋渡し役となっている。
- ・輸出の取組への効果的なサポートを行うため、韓国においてアンテナショップを拠点とした輸出の取組を行っている美作材輸出振興協議会と情報交換を行うなど連携を図っている。

6. 今後の展開

- ・新規会員の掘り起こし
- ・新たな販路を開拓先するための情報収集

7. 活用した支援・施策

岡山県「県産ヒノキ販路開拓支援事業」

8. ウェブサイト

<http://www.pref.okayama.jp/page/487663.html>

9. 問合せ先

岡山県林政課 TEL:086-226-7452



展示会における商談状況



韓国の伝統住宅の建設現場視察

7. 韓国にアンテナショップを開設 美作材輸出振興協議会(岡山県)

- 岡山県産ヒノキ製材品・家具を韓国へ輸出。
- 平成28年から岡山県津山市の支援を受け、ソウル市郊外の城南市に常設のアンテナショップを開設。
- 経費負担等、商習慣に違いがあるため、現地バイヤーと積極的に打合せを実施。
- 韓屋(ハノク)建築用材としての利用の可能性を把握するため、情報収集を実施。

1. 主な製品

県産ヒノキ製材品・家具

2. 主な輸出先国・地域

韓国

3. 輸出取組の概要

平成24年度から、岡山県木材組合連合会が取り組む韓国等における販路拡大の取組の成果を受け、ヒノキ人気の高い韓国における情報収集と販路開拓を目的として、平成27年9月、津山圏域の木材産業関連事業者を構成員とする「美作材輸出振興協議会」が設立された。

地域の木材産業の活性化のため、より付加価値が高いヒノキの製材品や家具・建具を輸出の対象品目としている。

平成28年1月から3月に韓国ソウル市内のセレクトショップに試行的に仮設展示場を設けた後、平成28年8月、岡山県・津山市の支援を受け、ソウル市郊外の城南市に常設のアンテナショップを開設している。

地域のブランド材である「美作材」の販路開拓を旗印に、組織力の強化を図るため、津山圏域外からも参加企業を募っており、参加企業の増加が見込まれている。

4. 輸出実績

- ・県産ヒノキ製材品(内装材、家具用材、その他耳付板など)
- ・県産ヒノキ製家具、小物類等

5. 課題と対応

- ・相手国における輸送経費の決済方法や経費負担など商習慣の違いに戸惑いを感じることも多いことから、定期的に訪韓し、現地バイヤーと積極的に打合せを行っている。
- ・内装材のニーズは非常に多い反面、構造材としてのヒノキ製材品へのニーズの掘り起こしが課題となっており、韓屋(ハノク)建築用材としての利用の可能性を把握するため、情報収集を行っている。
- ・また、アンテナショップに展示している家具に対する来店者の意見を集約している。

6. 今後の展開

- ・販売拠点のある強みを活かした積極的な訪問営業の実施
- ・家具メーカー、工務店等と連携したブランドPRの実施

7. 活用した支援・施策

岡山県「県産ヒノキ販路開拓支援事業」
津山市「津山市美作材輸出支援事業」

8. ウェブサイト

<http://www.pref.okayama.jp/page/487663.html>

9. 問合せ先

岡山県林政課 TEL:086-226-7452

ロゴマーク



店舗外観



店内展示品



8. 藍染建材をシンガポールへ 大利木材(株)(徳島県)

- 藍染杉材を原料とした、建材・家具等をシンガポールへ輸出。
- シンガポールにて、徳島県産材のアンテナショップ「藍染ショールーム」を整備。
- 設計に応じて変更が生じるようなケースでも、小口空輸便の利用により対応が可能。

1. 主な製品

「県産杉」と「藍染料」のコラボレーションにより生まれた藍染杉材を原材料とした建材・家具・インテリア小物など

2. 主な輸出先国・地域

シンガポール

3. 輸出取組の概要

シンガポールで日本製衣料デザイン・販売を手がける会社が、藍染建材や小物を展示販売するショップを開設することから、藍染建材をはじめ藍染の家具や照明器具等を輸出し、「藍染ショールーム」とも言うべき県産材のアンテナショップを整備した。

4. 輸出実績

H28実績

- ・藍染建材(スギ)3.538m³
- ・その他スギ小物19点(生活雑貨品・インテリア品)

5. 課題と対応

ASEAN地域におけるハブ機能を持つ国として輸出についてのトラブルは極めて少なかった。しかも運輸関連の利便性も極めて高くなっており、設計に応じて変更が生じるようなケースでも、その対応については小口空輸便の利用が可能で、緊急な対応もできた。

6. 今後の展開

シンガポールに整備された藍染建材を発信するアンテナショップを拠点に、東南アジア諸国へ信頼の高いmade in Japan製品の販路開拓を進めたい。

7. 活用した支援・施策

県事業(H28年度徳島すぎ輸出開拓加速化事業)

8. ウェブサイト

<http://www.dairinet.com/>

9. 問合せ先

大利木材(株)

TEL:088-662-5505/FAX:088-663-4050



藍染ショールームinシンガポール



建材以外の藍染商品



地元マスコミの取材対応

9. 高知県産ヒノキ製材品を韓国へ 池川木材工業(有)(高知県)

- 高知県産ヒノキ製材品を韓国・ベトナムへ輸出。
- 2007年に韓国でアンテナショップをオープンさせ、木製家庭用品販売開始。
- 現地スタッフを常駐させ、コミュニケーションの向上、早期の対応や情報入手を実施。

1. 主な製品

ヒノキ製材製品、ヒノキ内装材、ヒノキ集成材

2. 主な輸出先国・地域

韓国、ベトナム

3. 輸出取組の概要

1999年から、国内での加工により発生した端材の有効利用のため、ベトナム委託工場への輸出事業を開始した。

さらに、2007年には韓国でアンテナショップをオープンさせ、木製家庭用品販売を開始し、その後、2009年に韓国で開催されたINAP(友好提携港国際ネットワーク)の会合へ参加したことを契機に、「建築用材の輸出」という、より大きな貿易へと取組を拡大させている。

4. 輸出実績

H27 県産材製材品(主にヒノキ) 1,194m³



ベトナム工場とその内部

5. 課題と対応

●ベトナム

- ・工場周辺に日系企業が少ないこともあり、情報入手が遅くなる等により制度改正への対応に苦慮
→ 現地にスタッフを常駐させ、コミュニケーションの向上を図ることに注力

●韓国

- ・韓国市場での販売は、生活・建築様式の違いから日本とは製材規格が異なっており対応に苦慮
→ 加工時に発生する端材の処理検討を行い市場にあった価格を実現
→ 韓国へも現地スタッフを常駐させ、早期の対応及び情報入手を行い、Webサイト開設によりヒノキの特徴を発信

6. 今後の展開

- ・既存事業のさらなる拡大
- ・新規取引先の開拓、拡販によるリスク分散
- ・北米向け製品の試作、テスト出荷

7. 活用した支援・施策

高知県県産材輸出促進事業 (平成28年度)

8. ウェブサイト

池川木材工業(有) HP
<http://www.ikemoku.co.jp/>

9. 問合せ先

〒781-1606 高知県吾川郡仁淀川町土居甲775-1 池川木材工業(有) 代表取締役 大原栄博
TEL :0889-34-2015 FAX:0889-34-2545



韓国のアンテナショップ

10. 熊本県産材の輸出拡大・付加価値 を付けた木材製品の輸出促進 くまもと県産木材輸出促進協議会（熊本県）

- くまもと県産木材製品等をアジア地域等へ輸出。
- 県産材PRのため海外展示会等への出展、海外バイヤー招へいによる会員との商談機会の創出。
- 会員の貿易実務のスキルアップのため「貿易基礎講座」を実施。

1. 主な製品

くまもと県産木材製品等

2. 主な輸出先国・地域

アジア地域等

3. 輸出取組の概要

- 協議会の目的（H24年設立）
 - ・県産木材の需要拡大を図るため、県内の木材生産・加工・流通及び住宅建設等に携わる関係者が相互の連携を図り、海外における熊本県産材の輸出拡大、アジア地域等を対象とした新たな販路開拓に向けて創意工夫し、付加価値を付けた木材製品の戦略的な輸出推進に努める。
 - ・平成28年度に協議会の組織を改編し、会員からの負担金により協議会を運営
 - ・会員が取り組む輸出促進活動を支援
- 木材輸出に向けた課題検討
 - ・木材輸出に関する問題点について専門家等を交えた検討会の開催
- 海外の木材マーケット調査及び現地セールス
 - ・海外市場調査及び現地セールスの実施
- 木材輸出促進のための県産材PR
 - ・海外展示会等への出展、海外バイヤー招へいによる会員との商談機会の創出



【協議会・検討会】

4. 輸出実績（H28年度事業経過概要）

- ・日本木材輸出振興協会と連携し輸出促進に向けた議論・意見交換を実施
- ・中国における輸入木材のニーズや用途についてのセミナーを開催
- ・会員の貿易実務のスキルアップのため『貿易基礎講座』を実施
- ・台北ビルディングショーへ出展し、県産木材認知度向上及び現地商談を実施
- ・海外バイヤー（中国・韓国・香港等）招へいによる商談機会を創出
- ・台湾・香港・韓国等への現地調査を実施
- ・香港等へのサンプル輸出を実施 など

5. 課題と対応

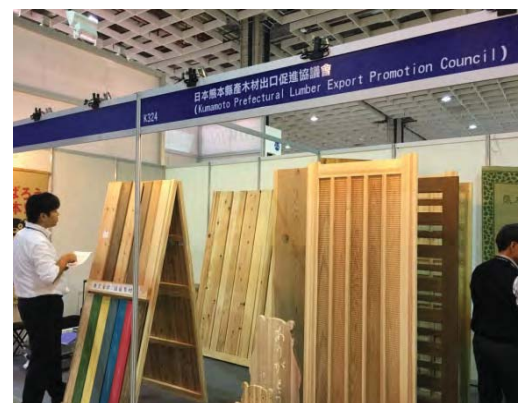
- ・今後は付加価値のある製材品輸出が重要と思われるが、国内規格との違い・価格差・要求ロット・外材との競合など課題が多いことから、協議会会員と連携し何らかの解決の糸口を見つきたい。

6. 問合せ先

くまもと県産木材輸出促進協議会

事務局 一般社団法人熊本県木材協会連合会 担当 水間(みずま)

TEL:096-382-7919 FAX:096-382-7893



【台北ビルディングショー出展】